

施策評価シート

施策コード	4202	平成27年度 第9次鳥取市総合計画		
施策名	公共交通の確保	所属名	都市整備部 交通政策課	

1. 基本情報

位置づけ 総合計画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる

2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>○市民が安心して快適に生活し様々な活動や交流を行うためには、地域内の路線バスや鉄道などの公共交通の果たす役割は大変重要です。とりわけ、自らの交通手段を持たない市民にとっては、欠かすことができないものです。</p> <p>○特に、路線バスは利用者の減少が減便や廃止などのサービス低下を招き、サービス低下がさらに利用者の減少を招くという悪循環が懸念されています。</p> <p>○安全に安心して移動できる社会をつくるためには、現在の公共交通体系を抜本的に見直し、利便性が高く効率的な新しい総合公共交通システムを構築する必要があります。</p> <p>○また、沿線の余部橋梁の架け替えなどにより、本市を走る鉄道は安全性や定時性を高めるとともに高速化が図られています。スムーズな乗継ぎが可能となるダイヤへの改善を図る必要があります。</p> <p>○東京への定期便が発着する鳥取空港や重要港湾である鳥取港は、国内に限らず、国際物流や国際観光に対応できる交通拠点です。この拠点機能を充実させ、利便性を高めるには、搭乗率の向上や取扱貨物量の安定的な確保が必要です。</p>
めざす方向	<p>現状のバス路線網を再編し、鉄道、タクシー、自転車など、他の交通手段との連携がとれた、誰もが使いやすく利便性が高い効率的な新しい総合公共交通システムの構築をめざします。また、鳥取空港と鳥取港の利便性を向上させ、国内外をつなぐ交通拠点をめざします。</p>
達成するための対策・手段	<p>①新しい総合公共交通システムの構築</p> <p>②鉄道の利便性の向上</p> <p>③鳥取空港の利便性の向上</p> <p>④鳥取港の利用促進</p>

3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果指標	1	鉄道、バスなど公共交通の便利さの満足度	%	目標	0	0	0	30	0
				実績	0	0	0	0	0
				目標達成率					
		(指標の説明) 市民アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした市民の割合。(基準値は平成21年度)							
	2	路線バスの利用者数	万人	目標	328	336	344	352	278
				実績	312	304	289	278	325
				目標達成率	95%	90%	84%	79%	117%
		(指標の説明) 県東部圏域内の一般路線バス利用者数。(基準値は平成21年度)							
	3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
目標達成率									
(指標の説明)									

4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	289,084	295,933	314,238	316,593	322,953

5. 施策の成果【CHECK】

<p>施策の成果</p> <p>(成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)</p>	<p>公共交通体系を再編し利便性が高く効率的な新たな公共交通システムを構築するとともに、更なる利用促進を図ってきた。</p> <p>南東部地域におけるバス路線網再編については、平成28年4月からの実証運行に向けて、小型バス車両購入、乗継拠点の整備等を行った。</p> <p>また、平成28年度から高齢者の事故防止とバスの利用促進を図るため、高齢者運転免許証自主返納支援事業に取り組むこととしている。</p>
--	---

6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
<p>担当部長評価コメント</p> <p>(部としての施策の方向性)</p> <p>※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載</p>	<p>住民の生活交通を確保するため、更なるバス利用促進や運行経費削減への努力、代替交通手段の導入を含めた効率的かつ効果的な手段について検討・導入しながら、引き続き事業実施することが必要である。</p>

事務事業評価シート

事務事業コード	001875	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	鉄道網利便性向上対策事業(山陰本線・福知山線)		所属名	都市整備部	交通政策課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	4202	公共交通の確保				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の利便性の満足度		0%	0%	運営方法	その他
	路線バスの利用者数		312万人	360万人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会負担金			予算事業コード	01-02-01-07-03-02

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	J R山陰本線、福知山線
意図 (どのような状態にするために)	山陰本線及び福知山線の複線電化の促進と、沿線地の開発と住民福祉の向上。
手段 (どうするのか)	国、鉄道事業者に対する要望活動 ・山陰本線(城崎温泉～伯耆大山間)の複線電化について ・福知山線、山陰本線(篠山口～城崎温泉間)の複線電化について ・沿線地域住民に対する山陰本線・福知山線利用の普及啓発等、利用者増加の促進運動について

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会の各取り組みに対して負担金を納入	平成24年度 山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会の各取り組みに対して負担金を納入	平成25年度 山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会の各取り組みに対して負担金を納入	平成26年度 山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会の各取り組みに対して負担金を納入	平成27年度 山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会の各取り組みに対して負担金を納入	
	年度別実績	山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会の各取り組みに対して負担金を納入	山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会の各取り組みに対して負担金を納入	山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会の各取り組みに対して負担金を納入	山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会の各取り組みに対して負担金を納入	山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会の各取り組みに対して負担金を納入	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,507	1,493	1,465	1,512	1,479	
	直接経費 A	8	8	8	8	8	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	8	8	8	8	8
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		鳥取市内各JR駅の1日平均乗降者数	人	目標	24400	24900	25500	25500	25500
	(指標の説明)		実績	24942	25000	25000	23000	22000	
2		目標		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0	
3		目標		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0	

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 交通政策課 0857-20-3257</p> <p>【9次総の施策体系】 4202</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 山陰本線及び福知山線の複線電化を促進し、もって沿線地の開発と住民福祉の向上に寄与することを目的として、昭和43年12月24日設立された。</p> <p>【事業の成果】 国、鉄道事業者等に対する要望活動を行った。 ・山陰本線（城崎温泉～伯耆大山間）の複線電化について ・福知山線・山陰本線（篠山口～城崎温泉間）の複線化について ・沿線地域住民に対する山陰本線・福知山線利用の普及啓発等、利用者増加の促進運動について</p> <p>会 員 山陰本線、福知山線沿線市町村及び鳥取県、兵庫県、関係団体 会 長 兵庫県知事 井戸敏三 (理事：鳥取市長 深澤 義彦) 負担金 鳥取市：8,000円 (参考 鳥取県：40,000円、米子市：8,000円)</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も継続して要望等による促進運動を展開していく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	鳥取市内各JR駅の1日平均乗降者数	102%	100%	98%	90%	86%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	山陰本線等の電化、複線化は市民生活にとって重要な課題である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	長期的な取り組みが必要な課題であり、今後も継続して取り組んで行く必要がある。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	必要最小限の費用である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	生活交通の確保は行政の責務である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	今後も継続して要望等による促進運動を展開していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001876	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	鉄道網利便性向上対策事業(因美線・津山線)		所属名	都市整備部 交通政策課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	4202	公共交通の確保				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の利便性の満足度		0%	0%	運営方法	その他
	路線バスの利用者数		312万人	360万人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	因美線・津山線近代化促進期成同盟会幹事会負担金			予算事業コード	01-02-01-07-03-03

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	因美線、津山線
意図 (どのような状態にするために)	因美線・津山線の近代化を促進し、山陰・山陽両地域の経済交流と沿線地域の発展に寄与する。
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の利便性向上に向けた要望活動 ・全国鉄道整備促進協議会として、関係機関等への要望活動 ・ポケット時刻表作成・配布による鉄道利用促進活動

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 因美線・津山線近代化促進期成同盟会幹事会の各種取り組みに対して負担金を納入	平成24年度 因美線・津山線近代化促進期成同盟会幹事会の各種取り組みに対して負担金を納入	平成25年度 因美線・津山線近代化促進期成同盟会幹事会の各種取り組みに対して負担金を納入	平成26年度 因美線・津山線近代化促進期成同盟会幹事会の各種取り組みに対して負担金を納入	平成27年度 因美線・津山線近代化促進期成同盟会幹事会の各種取り組みに対して負担金を納入	
	年度別実績	因美線・津山線近代化促進期成同盟会幹事会の各種取り組みに対して負担金を納入	因美線・津山線近代化促進期成同盟会幹事会の各種取り組みに対して負担金を納入	因美線・津山線近代化促進期成同盟会幹事会の各種取り組みに対して負担金を納入	因美線・津山線近代化促進期成同盟会幹事会の各種取り組みに対して負担金を納入	因美線・津山線近代化促進期成同盟会幹事会の各種取り組みに対して負担金を納入	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,539	1,525	1,497	1,544	1,511	
	直接経費 A	40	40	40	40	40	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	40	40	40	40	40
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		鳥取市内各JR駅の1日平均乗降者数	人	目標	24400	24900	25500	25500	25500
	(指標の説明)		実績	24942	25000	25000	23000	22000	
2		目標		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0	
3		目標		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0	

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 交通政策課 0857-20-3257</p> <p>【9次総の施策体系】 4202</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 因美線・津山線の近代化を促進し、もって山陰・山陽両地域の経済交流と沿線地域の開発に寄与することを目的として昭和44年11月4日設立された。</p> <p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の利便性向上に向けた要望活動を行った ・全国鉄道整備促進協議会として、関係機関等への要望活動を行った。 ・利用促進ポスター等の作成・配布による鉄道利用促進活動を行った。 ・J R西日本米子支社・岡山支社への要望書の提出を行った。 <p>会 員 因美線・津山線沿線市町村及び鳥取県、岡山県、関係団体 会 長 鳥取県知事 平井 伸治 (理事：鳥取市長 深澤 義彦)</p> <p>負担金 県： 80,000円 市： 40,000円 町： 16,000円</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も上記の目的を達成するため、事業を展開していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	鳥取市内各JR駅の1日平均乗降者数	102%	100%	98%	90%	86%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	因美線等の利便性向上は、市民生活にとって重要な課題である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	継続的な取り組みが必要な課題であり、今後も継続して取り組んで行く必要がある。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	必要最小限の費用である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	生活交通の確保は、行政の責務である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	今後も継続して要望活動を展開していく必要がある。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001877	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	鉄道網利便性向上対策事業(智頭線)		所属名	都市整備部 交通政策課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	4202	公共交通の確保				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の利便性の満足度		0%	0%	運営方法	その他
	路線バスの利用者数		312万人	360万人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	智頭線利用促進協議会負担金			予算事業コード	01-02-01-07-03-06

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	智頭線
意図 (どのような状態にするために)	智頭線の利用促進と智頭急行株式会社の安定経営を支援すると共に、鉄道利用者や地域住民に対するサービスの向上と沿線地域の発展に寄与する。
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 智頭線沿線地域のPR記事や広告等の掲載を行う普通列車の利用促進 ・ 都市圏からの誘客活動 ・ 利便性向上・利用促進に向けた関係機関への要望活動

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 智頭線利用促進協議会が行う各種取り組みに対して負担金を納入。	平成24年度 智頭線利用促進協議会が行う各種取り組みに対して負担金を納入。	平成25年度 智頭線利用促進協議会が行う各種取り組みに対して負担金を納入。	平成26年度 智頭線利用促進協議会が行う各種取り組みに対して負担金を納入。	平成27年度 智頭線利用促進協議会が行う各種取り組みに対して負担金を納入。	
	年度別実績	智頭線利用促進協議会が行う各種取り組みに対して負担金を納入。	智頭線利用促進協議会が行う各種取り組みに対して負担金を納入。	智頭線利用促進協議会が行う各種取り組みに対して負担金を納入。	智頭線利用促進協議会が行う各種取り組みに対して負担金を納入。	智頭線利用促進協議会が行う各種取り組みに対して負担金を納入。	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,539	1,525	1,497	1,544	1,511	
	直接経費 A	40	40	40	40	40	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	40	40	40	40	40
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		智頭急行利用者数	千人	目標	1108	1134	1161	1161	1161
	(指標の説明) 智頭急行年間利用者数	実績	1029	1064	1055	1067	1125		
2		目標	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0		
3		目標	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0		

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 交通政策課 0857-20-3257</p> <p>【9次総の施策体系】 4202</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 智頭線の利用促進と智頭急行株式会社の安定経営を支援するとともに、鉄道利用者や地域住民に対するサービスの向上と沿線地域の発展に寄与するために平成7年5月8日に設立された。</p> <p>【事業の成果】 ・普通列車の利用促進を行った。 沿線イベント経費助成、智頭線駅まつりの実施、沿線マップの作成、時刻表の配布 ・利便性向上・利用促進に向けた関係機関への要望活動を行った。</p> <p>会 長 智頭町長 寺谷 誠一郎 会 員 鳥取県、岡山県、兵庫県、智頭線沿線市町村、智頭急行株式会社 会 費 鳥取市 40千円 智頭町 110千円 鳥取県 40千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も、地域交通と関西・山陽方面との交流の中心となるよう、引き続き事業を展開する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	智頭急行利用者数	93%	94%	91%	92%	97%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	智頭線の利便性向上は、本市の経済・観光面など多くの市民にとって重要な課題である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	継続的な取り組みが必要な課題であり、今後も継続して取り組んでいく必要がある。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	必要最小限の費用である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	智頭線の利便性向上は、本市の経済・観光面など多くの市民にとって重要な課題である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	今後も目的を達成するため、事業を展開していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001878	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	鉄道網利便性向上対策事業(若桜鉄道)		所属名	都市整備部 交通政策課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	4202	公共交通の確保				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の利便性の満足度		0%	0%	運営方法	その他
	路線バスの利用者数		312万人	360万人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	若桜鉄道利用促進実行委員会負担金			予算事業コード	01-02-01-07-03-08

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	若桜鉄道
意図 (どのような状態にするために)	若桜鉄道の利用促進を通じて、沿線の産業経済の発展と住民生活の向上に資することを目的とし、観光客誘致を含めた利用促進事業に対して支援する。
手段 (どうするのか)	利用促進事業 八頭高生対策、ミニ時刻表の作成 観光振興事業 観光ツアーの誘致、旅行会社との連携による観光商品の開発、鉄道記念日のイベント、観光パンフレット作成

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 若桜鉄道利用促進実行委員会が行う各種取り組みに対して負担金を納入。	平成24年度 若桜鉄道利用促進実行委員会が行う各種取り組みに対して負担金を納入。	平成25年度 若桜鉄道利用促進実行委員会が行う各種取り組みに対して負担金を納入。	平成26年度 若桜鉄道利用促進実行委員会が行う各種取り組みに対して負担金を納入。	平成27年度 若桜鉄道利用促進実行委員会が行う各種取り組みに対して負担金を納入。	
	年度別実績	若桜鉄道利用促進実行委員会が行う各種取り組みに対して負担金を納入。	若桜鉄道利用促進実行委員会が行う各種取り組みに対して負担金を納入。	若桜鉄道利用促進実行委員会が行う各種取り組みに対して負担金を納入。	若桜鉄道利用促進実行委員会が行う各種取り組みに対して負担金を納入。	若桜鉄道利用促進実行委員会が行う各種取り組みに対して負担金を納入。	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	3,499	3,485	3,457	3,504	3,471	
	直接経費 A	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	若桜鉄道利用者数	単位	千人	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		実績				392	392	392	392	392			
	(指標の説明) 若桜鉄道年間利用者数												
	2	目標	0	0	0	0	0						
		実績	0	0	0	0	0						
	(指標の説明)												
3	目標	0	0	0	0	0							
	実績	0	0	0	0	0							
(指標の説明)													

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 交通政策課 0857-20-3257</p> <p>【9次総の施策体系】 4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P191（都009）</p> <p>【事業の概要】 若桜鉄道の利用促進を通じて、沿線の産業経済の発展と住民生活の向上に資することを目的とし、平成9年6月2日に若桜鉄道利用促進実行委員会が設立された。 鳥取県、鳥取市、八頭町、若桜町及び若桜鉄道(株)により構成。 また、若桜鉄道は、平成21年4月1日から八頭、若桜両町が線路などの鉄道施設を保有し、若桜鉄道(株)が運行を担う上下分離方式に移行した。 鳥取市は、観光客誘致を含めた利用促進事業に対して引き続き支援していく。</p> <p>【事業の成果】 利用促進事業 シルバー回数券等への助成、若桜鉄道ホームページの維持管理、ミニ時刻表の作成 観光振興事業 鉄道記念日イベントの開催、若桜鉄道沿線活性化事業への助成、オリジナルグッズの作成、鉄道記念日のイベント、観光パンフレットの作成、新聞広告掲載による利用促進と観光PR 負担金 鳥取市：2,000,000円 利用者数：平成27年度 312千人（前年度より △34千人）</p> <p>【今後の課題・方向性】 少子高齢化による通勤通学客の減少等厳しい経営環境にあるため、観光客誘致を含めた利用促進事業に引き続き支援していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	若桜鉄道利用者数	107%	103%	106%	88%	80%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	若桜鉄道の利便性向上は、鳥取市を中心とした圏域発展のため重要な課題である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	継続的に取り組んでいくことにより、効果が期待できる。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	必要最小限の費用である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	鳥取市を中心とした圏域の発展は、多くの市民にとって重要な課題である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	少子高齢化による通勤通学客の減少等厳しい経営環境にあるため、観光客誘致を含めた利用促進事業に引き続き支援していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001882	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	鉄道網利便性向上対策事業(鳥取県東部鉄道利用)		所属名	都市整備部 交通政策課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	4202	公共交通の確保				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の利便性の満足度		0%	0%	運営方法	その他
	路線バスの利用者数		312万人	360万人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取県東部鉄道利用促進実行委員会負担金			予算事業コード	01-02-01-07-03-16

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	J R山陰本線(鳥取駅~豊岡駅間)
意図 (どのような状態にするために)	J R山陰本線(鳥取駅~豊岡駅間)等における鉄道の利用促進を図るとともに、鉄道利用者や地域住民に対するサービスの向上と沿線地域の発展に寄与する。
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> 団体旅行、学校活動及び魅力ある旅行商品等への支援 利用促進PRキャンペーン・イベントの実施 駅アクセスの調整

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	鳥取県東部鉄道利用促進実行委員会が行う各利用促進活動に対し負担金を納入。 「山陰海岸ジオライナー」利用促進。	鳥取県東部鉄道利用促進実行委員会が行う各利用促進活動に対し負担金を納入。 「山陰海岸ジオライナー」利用促進。	鳥取県東部鉄道利用促進実行委員会が行う各利用促進活動に対し負担金を納入。 「山陰海岸ジオライナー」利用促進。	鳥取県東部鉄道利用促進実行委員会が行う各利用促進活動に対し負担金を納入。 「山陰海岸ジオライナー」利用促進。	鳥取県東部鉄道利用促進実行委員会が行う各利用促進活動に対し負担金を納入。 「山陰海岸ジオライナー」利用促進。	
	年度別実績	鳥取県東部鉄道利用促進実行委員会が行う各利用促進活動に対し負担金を納入。 「山陰海岸ジオライナー」利用促進。	鳥取県東部鉄道利用促進実行委員会が行う各利用促進活動に対し負担金を納入。 「山陰海岸ジオライナー」利用促進。	鳥取県東部鉄道利用促進実行委員会が行う各利用促進活動に対し負担金を納入。 「山陰海岸ジオライナー」利用促進。	鳥取県東部鉄道利用促進実行委員会が行う各利用促進活動に対し負担金を納入。 「山陰海岸ジオライナー」利用促進。	鳥取県東部鉄道利用促進実行委員会が行う各利用促進活動に対し負担金を納入。 「山陰海岸ジオライナー」利用促進。	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,499	2,485	2,457	2,504	2,471	
	直接経費 A	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	JR鳥取~豊岡間の土日平均乗車人員	人	目標	35	40	45	45	45
		実績		26	25	18	21	21	
	(指標の説明)	山陰海岸ジオライナー1便当たりの平均乗車人数(2往復4便)※平成26年度から1往復2便							
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 交通政策課 0857-20-3257</p> <p>【9次総の施策体系】 4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P191（都010）</p> <p>【事業の概要】 平成21年8月の余部橋梁の架け替えにより、安全性・定時性が確保された山陰本線（鳥取駅以東）の利便性向上について、JRに対して本市が積極的な要望活動を展開した結果、鳥取発浜坂止まりの普通列車が城崎まで2便を運行、逆に豊岡、城崎から鳥取までそれぞれ1便ずつ運行、また鳥取豊岡間の臨時快速が土日祝日運行されるなど大きな前進があった。 このうち臨時快速列車「山陰海岸ジオライナー」については、継続運行・定期運行とするための活動を今後も行っていく必要があり、県、市、岩美町等により設立した鳥取県東部鉄道利用促進実行委員会を中心に利用促進活動を展開していく。</p> <p>【事業の成果】 ・団体旅行、学校活動及び魅力ある旅行商品等への支援 ・利用促進PRキャンペーン・イベントの実施 ・駅アクセスの調整 会 員 鳥取県、鳥取市、岩美町、JR西日本、旅行会社等 負担金 鳥取県：150万円 鳥取市：100万円 岩美町：50万円</p> <p>【今後の課題・方向性】 山陰海岸ジオパーク世界認定を機に、鳥取駅発着の特急列車の増便も含めて、この地域における鉄道の利便性向上のため、引き続き、JRへの働きかけを行っていく。 また、JRの今後の運行計画を視野に入れて、引き続き旅行支援事業（運賃補助）を行い、利用者の拡大及び定着を図る。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	JR鳥取～豊岡間の土日平均乗車人員	74%	63%	40%	47%	47%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	山陰海岸ジオパークのPRと山陰本線の利便性向上は、市民にとって重要な課題である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	継続的に取り組んでいくことにより、効果が期待できる。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	関係機関が一体となって取り組むことにより、効率性が確保できる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	公共交通を対象とするものであり、公平性は確保されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント	山陰海岸ジオパーク世界認定を機に、鳥取駅発着の特急列車の増便も含めて、この地域における鉄道の利便性向上のため、引き続き、JRへの働きかけを行っていく。 また、JRの今後の運行計画を視野に入れて、引き続き旅行支援事業（運賃補助）を行い、利用者の拡大及び定着を図る。		

事務事業評価シート

事務事業コード	001883	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	空港利便性向上対策事業		所属名	都市整備部 交通政策課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	4202	公共交通の確保				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の利便性の満足度		0%	0%	運営方法	その他
	路線バスの利用者数		312万人	360万人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取空港の利用を促進する懇話会負担金			予算事業コード	01-02-01-07-04-04

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取空港を発着する航空便の利用促進 (鳥取空港の利用を促進する懇話会への負担金)
意図 (どのような状態にするために)	国際チャーター便の就航、東京便の5便化維持、運賃低廉化等、鳥取空港の利便性向上を図る。
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携し、環日本海地域を中心に北東アジアなどの国際チャーター便就航に向けたセールスを展開する。 関係機関と連携し、東京便利用促進PRキャンペーン、イン・アウトバウンド対策事業等に取り組む。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	関係機関と連携したセールスの展開、Edyプレゼントキャンペーンなどの利用促進事業等の展開	関係機関と連携したセールスの展開、Edyプレゼントキャンペーンなどの利用促進事業等の展開	関係機関と連携したセールスの展開、Edyプレゼントキャンペーンなどの利用促進事業等の展開	関係機関と連携したセールスの展開、Edyプレゼントキャンペーンなどの利用促進事業等の展開	関係機関と連携したセールスの展開、Edyプレゼントキャンペーンなどの利用促進事業等の展開	
	年度別実績	関係機関と連携したセールスの展開、各種プレゼントキャンペーンなどの利用促進事業等の展開	関係機関と連携したセールスの展開、各種プレゼントキャンペーンなどの利用促進事業等の展開	関係機関と連携したセールスの展開、各種プレゼントキャンペーンなどの利用促進事業等の展開 国交省の政策コンテストによる増便を実現	関係機関と連携したセールスの展開、各種プレゼントキャンペーンなどの利用促進事業等の展開 国交省の政策コンテストによる東京便5便運航中	関係機関と連携したセールスの展開、各種プレゼントキャンペーンなどの利用促進事業等の展開 国交省の政策コンテストによる東京便5便継続運航中	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	9,870	9,898	8,820	12,748	13,197	
	直接経費 A	8,371	8,413	7,363	11,244	11,726	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	333	333
	一般財源	8,371	8,413	7,363	10,911	11,393	
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	鳥取空港国際チャーター便数	便	目標	12	14	16	16	16
				実績	8	12	12	10	8
	(指標の説明) 鳥取空港を利用した国際チャーター便数(平成25年度に翌年度以降の目標値を見直し)								
2	鳥取東京便数	便	目標	4	5	5	5	5	
			実績	4	4	5	5	5	
	(指標の説明) 東京一鳥取便の数								
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 交通政策課 0857-20-3257</p> <p>【9次総の施策体系】 4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P192（都O11）</p> <p>【事業の概要】 鳥取県、鳥取市をはじめとした鳥取県東・中部並びに兵庫県北部の各自治体、経済団体等で「鳥取空港の利用を促進する懇話会」を設立し、以下の事業を実施している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 既存航空路線の利用率向上への取り組み 2 鳥取空港の国際化への取り組み 3 既存航空路線の増便への取り組み 4 運賃低廉化への取り組み 5 これらに係る関係機関等への要望、働きかけ <p>【事業の成果】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>一般・特別負担金</td> <td style="text-align: right;">11,359千円</td> </tr> <tr> <td>国際チャーター便負担金</td> <td style="text-align: right;">367千円</td> </tr> <tr> <td>乗客数：平成25年度</td> <td style="text-align: right;">330,016人</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td style="text-align: right;">342,926人</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td style="text-align: right;">368,099人</td> </tr> </table> <p>※平成26年3月30日から、政策コンテストによる5便化を実現（平成30年3月まで延長） ※平成27年3月1日「鳥取砂丘コナン空港」愛称化により、空港来場者が増加</p> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取－東京便の5便化定着に向け、更なる利用促進が必要となる。 国際チャーター便の就航拡大のため、C I Q体制の充実強化を関係機関に要望していく。</p>	一般・特別負担金	11,359千円	国際チャーター便負担金	367千円	乗客数：平成25年度	330,016人	平成26年度	342,926人	平成27年度	368,099人
一般・特別負担金	11,359千円										
国際チャーター便負担金	367千円										
乗客数：平成25年度	330,016人										
平成26年度	342,926人										
平成27年度	368,099人										

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	鳥取空港国際チャーター便数	67%	86%	75%	63%	50%
	2	鳥取東京便数	100%	100%	100%	100%	100%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	鳥取－東京便の利用促進目標に沿ったものになっている。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	関係機関が一体となって取り組むことにより、有効性の向上が期待できる。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	関係機関が一体となって取り組むことにより、効率性の向上が期待できる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	高速交通網整備への取り組みであり、公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	鳥取－東京便の5便化継続のため、引き続き支援していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001910	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取港振興事業		所属名	都市整備部 交通政策課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	4202	公共交通の確保				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の利便性の満足度		0%	0%	運営方法	補助金交付
	路線バスの利用者数		312万人	360万人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取港振興会対策費			予算事業コード	01-07-04-01-04-03

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取港 (鳥取港振興会)
意図 (どのような状態にするために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貨物取扱量の増加。(港湾利用企業の誘致、新規貨物の獲得) ・ クルーズ客船の誘致、受入れによる港の賑わい創出。 ・ ポートパークの利用。
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥取自動車道全線開通及び山陰近畿自動車道一部整備、鳥取空港羽田便の5便化等によるアクセス向上をPRし、関西、中国地方を中心にポートセールスを実施する。 ・ 山陰海岸ジオパークなど魅力的な観光資源や周辺的高速道路網をプロモーション活動に生かした客船誘致に取り組む。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 鳥取港振興会へ職員を派遣 鳥取港振興会への事業 ・運営費補助	平成24年度 鳥取港振興会へ職員を派遣 鳥取港振興会への事業 ・運営費補助	平成25年度 鳥取港振興会へ職員を派遣 鳥取港振興会への事業 ・運営費補助	平成26年度 鳥取港振興会へ職員を派遣 鳥取港振興会への事業 ・運営費補助	平成27年度 鳥取港振興会へ職員を派遣 鳥取港振興会への事業 ・運営費補助	
	年度別実績	鳥取港振興会へ職員を派遣 鳥取港振興会への事業 ・運営費補助	鳥取港振興会へ職員を派遣 鳥取港振興会への事業 ・運営費補助	鳥取港振興会へ職員を派遣 鳥取港振興会への事業 ・運営費補助	鳥取港振興会へ職員を派遣 鳥取港振興会への事業 ・運営費補助	鳥取港振興会へ職員を派遣 鳥取港振興会への事業 ・運営費補助	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	10,882	12,864	14,521	13,748	10,599	
	直接経費 A	3,385	5,438	7,236	6,226	3,242	
	間接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,385	5,438	7,236	6,226	3,242		
人件費 B	7,497	7,426	7,285	7,522	7,357		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	鳥取港取扱貨物量	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			目標	実績	53	55	57	57	57	
	(指標の説明) 鳥取港の輸出入・移出入に係る貨物量	万トン	37	60	83	68	72			
2	クルーズ客船の誘致、受入	指標名	回	目標	2	2	2	2	2	
		実績	2	2	2	2	0			
3		指標名		目標	0	0	0	0	0	
		(指標の説明) 外国客船を含むクルーズ客船の寄港回数		実績	0	0	0	0	0	

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 交通政策課 0857-20-3257</p> <p>【9次総の施策体系】 4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P195（都017）</p> <p>【事業の概要】 重要港湾鳥取港の利用促進を図るため、県・市の商工部局、商工団体等の協力を得ながら「鳥取港振興会」と連携して積極的なポートセールス活動等を実施する。 ①ポートセールス活動 ②外国貿易促進活動 ③港湾振興に関する情報収集、調査、分析 ④港湾施設の整備及び、港湾関係公共機関の設置に係る要望活動 ⑤クルーズ客船誘致活動</p> <p>【事業の成果】 ・会費 10千円 ・補助金 3,232千円 対象経費の1/2（県市折半） ・事業実績 平成25年 貨物取扱量 83万トン クルーズ船就航2隻 平成26年 貨物取扱量 68万トン クルーズ船就航2隻 平成27年 貨物取扱量 72万トン クルーズ船就航0隻</p> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取市として、鳥取港の目指す姿は「クルーズ船の寄港地」、「観光港」としてにぎわい創出に取り組んでいきたい。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	鳥取港取扱貨物量	70%	109%	146%	119%	126%
	2	クルーズ客船の誘致、受入	100%	100%	100%	100%	100%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	官民一体となって鳥取港の施設整備、利用促進に取り組むものであり、鳥取市も積極的に関与すべきである。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	関係機関が一体となって取り組むことにより、有効性の向上が期待できる。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	関係機関が一体となって取り組むことにより、効率性の向上が期待できる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	公共の港湾を対象とするものであり、公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	現状を維持しつつ、更なる鳥取港の振興を図る。	